

- ロ 家庭神前ニ於テ神職ノ出張ヲ乞ヒ舉行スルコト
- ハ 家庭神前ニ於テ媒酌人其他ノ者カ神職ニ代ツテ行フコト
 - 一 婚礼ノ調度費ハ左ノ標準ニ依ル
 - 特別税戸数割年額 十 円以下ノモノ 金 百 円 以内
 - 全 二十円以下ノモノ 金 貳 百 円 以内
 - 全 三十円以下ノモノ 金 貳 百 五 拾 円 以内
 - 全 五十円以下ノモノ 金 參 百 五 拾 円 以内
 - 全 五十円ヲ超ヘタルモノ 金 五 百 円 以内
 - 右ノ外婚礼費用ヲ節約シ育児費其他有意義ノ費用ニ充ツルタメ之レヲ持參スルコト
- 一 調度品ヲ婚家ニ持參シタルトキハ衣裳見セラササルコト
- 一 結納金ハ五拾円以内トシ結納返シヲナササルコト
- 一 披露ノ宴会ハ開會ヨリ二時間以内ト定メ午後十二時ヲ超ヘサルコト
 - 一 招待客ハ近親並ニ近隣ノ組合内ニ止ムルコト
 - 一 友人間ハ祝儀ヲ廢シ五ニ招待ヲナササルコト
 - 一 宴会ハ質素ヲ旨トシ分度ヲ守リ一人ニ付金貳円以内ニ於テ行フコト
- 但シ引物ハ新客ノミトス
 - 一 宴会ノ席上ニ於テハ濫リニ酒ヲ強ヒサルコト
 - 一 婚礼ノ祝儀ハ親戚並ニ特別縁故者ノ外ハ金壹円以内トスルコト
 - 一 披露廻礼里帰りヲ廢スルコト
 - 但シ通常服ヲ着シ簡單ニ行フコトハ此ノ限りニアラズ
 - 一 結婚後ハ成ルベク速カニ戸籍上ノ手續キヲ履行スルコト
 - 一 葬具ハ共同備付ノモノヲ使用スルコト
 - 一 出棺及儀式ハ時間ヲ嚴守スルコト
 - 一 葬儀ノ花ハ団体ヨリ贈ラレタルモノ、外可成之レヲ差シ控ヘ一対位ニ止ムルコト
 - 一 婦人ノ会葬者ハ通常礼服又ハ通常服ヲ着用シ白衣ヲ着用スルニ及バサル事
 - 一 念仏ハ左ノ忌日ニノミ之レヲ行フコト
 - 出棺当日初七日三七日(廿一日) 五七日(三十五日) 四十九日百ケ日
 - 一 念仏講者ニハ夜食ヲ供シ(おたま) 其他ノ土産物ハ一切廢スルコト
 - 一 忌吊ヲ全廢スル事
 - 一 香奠ハ五拾錢以内トスル事 但シ近親及特別縁故者ハ此ノ限りニアラズ

- 一 香奠返シハ從來ノ通り全廃スル事
- 一 他町村ノ葬儀ニハ直接縁故者ノミ会葬シ其ノ他ノ者ハ会葬者ノ自宅ヲ訪問シテ弔意ヲ表スル事
- 一 年忌ハ質素ヲ旨トシ自宅又ハ寺院ニ於テ近親又ハ縁故者ノミヲ以テ行フ事
- 一 毎月一回以上必ず展墓ヲ行フ事
- 一 入営ノ祝宴ヲ廢シ幟ハ従前通り贈ラサル事
- 一 但シ出征凱旋等ノ場合ハ此ノ限りニアラズ
- 一 入退營兵ノ服裝ハ可成軍服又ハ之レニ準ズルモノトシ和服ノ場合ハ有リ合セノモノヲ着用シ之レガ為メ特新調ヲナサ、ル事
- 一 除隊兵ノ土産物ヲ廢シ祝宴ヲナサ、ル事
- 一 國家ノ祝祭日ニハ必ス国旗ヲ掲揚スル事
- 一 神社ニハ毎月一日十五日參拜スル事
- 一 田植ニハ耕作主ヨリ依頼ヲ受ケタル場合ノ外ハ其ノ手伝ヒヲ遠慮スル事
- 一 農事ノ手伝ヒヲナス者ニ対シテハ簡單ナル食事ヲ供スルニ止メ酒其他ノ饗応ヲナササル事
- 一 農繁ノ際交互ニ手伝ヲナス時ハ互ニ食事ヲ供セサル事
- 一 節酒節煙ヲ行ヒ可成ク巻煙草ヲ廢スル事

- 一 未成年者ノ禁酒禁煙ニ対シテハ特ニ監督ヲナスコト
- 一 普請祝ハ質素ニ之レヲ行ヒ腰掛俵ハ全廃スル事
- 一 上棟ノ手伝ハ当事者ト打合せ必要人員ニ止ムル事
- 一 本実行要目ニ拠リ難キ特別ノ事情アル者ハ予メ吉浜村更生委員會長ニ申出デ其ノ承諾ヲ得ル事ヲ要ス
- 一 右実行要目ハ昭和八年十一月一日ヨリ施行ス

吉浜村生活改善実行方法
吉浜村經濟更生委員會

- 第一条 吉浜村更生委員會ハ村内ヲ区ニ分チ各区ヨリ実行委員ヲ五名乃至八名選舉シ其ノ任期ヲ二ケ年トス
- 一 実行委員ハ実行部長及其ノ代理者各一名ヲ互選ス
- 第二条 生活改善実行部員ハ常ニ部内ノ生活改善事項ノ実行ニ留意シ実行要目ニ記載シタル事実ノ發生シタル場合ニ於テハ予メ当事者ノ家庭ヲ訪問シテ実行上ノ注意ヲ促シ其ノ実行ヲ監視シ相当ノ援助ヲ与フルモノトス
- 一 前項ノ場合ニ於テ実行部長ヨリ其ノ実行ヲ促シ再三注意ヲ加フルニモ係ラズ実行ノ誠意ヲ示ササルモノアル時ハ実行部長ハ狀ヲ具シテ之レヲ更生委員會長ニ報告スルモノトス
- 第三条 吉浜村更生委員會長ガ前條ノ報告ヲ受ケタル時ハ実行部長

会ニ諮リ適宜ノ処置ヲ執ルモノトス

第四条 更生委員会長ハ毎月一回実行部長会ヲ召集シ各区実行ノ状

況ヲ報告セシメ互ニ意見ノ交換ヲナシ各区実行上ノ聯絡統制

ヲ計ルモノトス

第五条 生活改善事項ノ実行ヲナスニ当リ他町村ニ関係アリト認ム

ル時ハ実行部長ハ之レヲ更生委員会長ニ報告シ更生委員会長

ハ直チニ関係町村長ヲ経テ生活改善実行ノ趣旨ヲ徹底セシム

ル文書ニ実行要目ヲ添ヘ発送ノ手續キヲナスモノトス

第六条 吉浜村更生委員会ハ生活改善ニ関スル部落懇談会主婦会又

ハ研究会講演会等ヲ開催シ趣旨ノ徹底ヲ期ス

第七条 至誠ニシテ勤勉克ク家運ノ挽回ヲ謀リ他ノ模範トスルニ足

ルモノアリト認ムル時ハ実行部長ハ之ヲ調査シ更生委員会長

ニ報告シ更生委員会長ハ実行部長会ノ意見ヲ諮ヒ之ガ表彰ヲ

村長ニ申請スルモノトス

第八条 本規定ニ定ムルモノ、外生活改善事項ノ実行ニ関シ必要ナ

ル事項ハ実行部長会ノ決議ニ依リテ之ヲ定メ更生委員会長ニ

報告スルモノトス

以 上

一 本村ハ経済更生計画樹立実行ニ関シ左記役職員ヲ網羅シテ趣旨ノ徹底ヲ図ルト共ニ之レガ指導督励ニ当リ其ノ目的ノ達成ニ邁進

セントス

一 吉浜村経済更生委員会

会 長 村長 岩本福太郎

副会長 助役 小沢栄三郎

更生委員

浅田岩次郎 小沢開蔵 小沢菊治 井上武雄 小沢久三

浅田長吉 力石由太郎 中村真一 河野周作 力石由太郎

小沢陸蔵 常盤作太郎 柏木親重 鈴木慶吉 吉田弁吉

杉山周吉 力石梅吉 岩本勝次郎 小沢藤吉 藤中里次郎

林 彦次郎 内藤清吉 力石秀太郎 小沢栄太郎 岩本君之助

小沢金太郎 村上新吉 家本清治 露木儀三郎 内藤彦太郎

近藤徳寧 常盤梅次郎 小沢一郎

幹 事

浅田岩次郎 小沢開蔵 鈴木弘慥 富田武夫 常盤竜蔵

小沢菊治 井上武雄 林 泰助 向笠武治 力石芳雄

書 記

林 泰助 井上武雄 小沢菊治

一 経済更生計画樹立実行ニ関シテハ之レヲ産業経済社会教化ノ四部ニ分チ各部門ニヨリ担当委員ヲ定メ指導督励ニ任ス

一 産業部

部長 小沢栄三郎

副部長 常盤作太郎

主任 井上武雄 穂坂次郎

産業部実行委員

第一区委員長 力石梅吉 副力石房吉 力石伝蔵 岡崎竟治

小沢米太郎 秋沢茂三郎 力石森三郎

部落評議員 力石秀太郎 小沢栄太郎 岩本浅吉 岩本房次郎

小沢幸蔵 岩本君之助

第二区委員長 村上新吉 副小沢柳吉 岩本勝次郎 力石勘次郎

青木豊吉 力石勝治 浅田房治

第三区 稻葉音吉 小沢虎蔵 浅田長吉 小沢時蔵

夏目儀三郎 露木儀三郎 力石長吉 向笠富次郎

浅田福松 大津祐男

第四区委員長 力石由太郎 副力石由太郎 夏目菊治 藤中里次郎

山口金平 藤池助七 小沢藤吉 内藤七之助

内藤作平 石塚作太郎 加藤仙吉 小沢亀太郎

力石栄蔵 松野幸太郎 米岡幸作 柳沢与市

第五区 小野 広 鈴木鶴吉 柏木定吉 鈴木慶吉

鈴木松次郎 内藤清吉 鈴木久信 内藤徳次郎

柏木春吉 柏木藤吉 常盤定蔵 鈴木庄太郎

榎本岩太郎 小沢 剛 常盤幾太郎 柏木森太郎

露木安一郎 常盤松蔵 西山平吉 常盤寿延

北村竜蔵 常盤作太郎 柏木鶴吉 木村鶴吉

北村東作 深沢将蔵 小沢健蔵 吉田弁吉

柏木親重 杉山周吉 柏木源助 常盤正雄

常盤定敏 常盤晴夫 内藤正則 榎本義隆

柏木重雄

部落顧問 近藤徳寧 常盤梅次郎

一 経済部

部長 浅田岩次郎

副部长 近藤徳寧

主 事 林 泰助 主 任 常盤竜蔵

委 員

第一区 小沢栄太郎 岩本房次郎 力石秀太郎 岩本君之助

力石梅吉

第二区 浅田長吉 家本清治 小沢金太郎 岩本勝次郎

村上新吉 小沢和三郎 中村真一 向笠富次郎

(原) 力石由太郎 露木儀三郎 藤中里次郎 小沢栄三郎

小沢一郎 杉山久太郎

第三区 常盤梅次郎 柏木親重 杉山周吉 鈴木慶吉

北村柳吉 内藤善吉 常盤作太郎 小清水太次郎

一 社会部

部長 岩本福太郎

副部长 小沢栄三郎 主事 小沢菊治

実行委員

第一区 実行部長 力石秀太郎 全副部長 小沢栄太郎

委員 力石梅吉 力石房吉 小沢幸藏 小沢米太郎

第二区 実行部長 小沢金太郎 全副部長 浅田房治

委員 青木豊吉 根本良之助 小沢親三 向笠延吉

第三区 実行部長 小沢藤吉 全副部長 力石八百藏

委員 家本清治 露木儀三郎 小沢和三郎 小沢時藏

浅田幸太 夏目儀三郎 御守常吉

第四区 実行部長 中村真一 全副部長 力石由太郎

委員 山口金平 小沢広家 柳沢与市 力石栄藏

第五区 実行部長 力石由太郎 全副部長 藤中里次郎

委員 内藤作平 内藤七之助 藤池助七 土肥野長太

郎

第六区 実行部長 河野周作 全副部長 林彦次郎

委員 中村八郎 西本兵作 飯田松太郎 榎木清

土屋浜之助 小沢浜之助

第七区 実行部長 小沢陸藏 全副部長 柏木親重

委員 小沢健藏 深沢福太郎 鈴木梅藏 常盤寿延

常盤梅次郎

第八区 実行部長 杉山周吉 全副部長 木村福次郎

委員 小沢剛 常盤定藏 常盤善太 柏木森太郎

第九区 実行部長 鈴木慶吉 全副部長 鈴木松次郎

委員 柏木藤吉 杉本富太郎 鈴木演治 内藤徳次郎

小野 広

一 教化部

部長 小沢久三

副部长 常盤貞雄 主事 小沢開藏

委員 熊沢清太郎 原 忠太郎 小沢新太郎 向笠孝之

富田吾兵衛 細川正義 柳川 鼎 石井亀代

鈴木弘造 鈴木隆明 坪井俊彦 米山祖雄

近藤徳寧 笠原恵孝 露木文吾 小沢陸藏

一 基本調査ニ関スル調査員

常任調査員 (役場吏員)

| | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|------|-----|-------|------|------|------|
| 内藤七之助 | 岩本助太郎 | 露木英男 | 常盤正雄 | 第五班 | 根本延三 | 第六班 | 向笠一雄 | |
| 林 武蔵 | 榎本昌男 | 力石正司 | 岩本常蔵 | 第七班 | 夏目儀三郎 | | | |
| 根本延三 | 内藤正則 | 木村久治 | 常盤晴夫 | 第四区 | 第一班 | 力石芳雄 | 第二班 | 山口金平 |
| 向笠ツナ | 岩本チヨウ | 力石ハナ | 御守ヒコ | 第三班 | 佐藤隆治 | 第四班 | 力石栄蔵 | |
| 青木ヨシ | 杉山ヤマ | 鈴木リセ子 | | 第五区 | 第一班 | 藤中幸作 | 第二班 | 小沢藤吉 |
| | | | | 第三班 | 内藤七之助 | | | |

第六区

調査部長 浅田岩次郎
 調査員 鈴木弘髓 井上武雄 小沢菊治 向笠武治
 富田武夫 林 泰助 小沢開蔵 力石芳雄

第一班 榎本 清 第二班 小沢真一
 第三班 西本兵作 第四班 斎藤和郎
 第五班 青木喜助 第六班 土屋浜之助

第七区

部落調査員

第一区

第一班 岩本助太郎 第二班 岩本治三九

第八区

第一班 原忠太郎 第二班 北村東作
 第三班 竹原幸久 第四班 木村久治

第二区

第一班 向笠春蔵 第二班 岩本勝次郎

第九区

第一班 鈴木歌吉 第二班 常盤定敏
 第三班 小野 広 第四班 加藤忠太郎

第三区

第一班 向笠孝之 第二班 小沢時蔵

第三班 大津祐男 第四班 神保寅之助

(仙石原村役場「視察町村参考書類」(昭和十一年)箱根町役場蔵)
 [注] 別紙基本調査書省略。

三五 中郡大磯町大磯漁業組合経済更生計画書

〔表紙〕
昭和八年年度

経済更生計画書

中郡大磯町 大磯漁業組合

大磯町漁業組合経済更生計画書目次

第一 目的

第二 目標

一 経済更生目標

二 生産目標

三 収支目標

第三 計画要項

一 土地ニ関スル事項

(一) 船揚場船溜場ノ拡張整備

二 生産ニ関スル事項

(一) 副業奨励

(二) 水産業改善

(1) 漁業共同経営ノ改善及組織ノ改善 (2) 漁業ノ統制

(3) 漁業ノ新計画

(4) 水産物ノ価値増進対策

(5) 沿岸漁業ノ拡充

(1) 蕃殖保護ノ徹底

(1) 種苗放養及害敵ノ駆除 (2) 築磯ノ設置

(3) 瀬ノ海魚礁ノ愛護

(4) 漁業権ノ整理及充実

(5) 発動機付漁船ニ依ル漁業経営ノ改善

(1) 隻数噸数馬力数ノ統制 (2) 機関ノ規格統一

(3) 燃料費ノ軽減

三 販売購買金融ニ関スル事項

(一) 販売ニ関スル事項

(二) 購買ニ関スル事項

(三) 金融ニ関スル事項

四 負債整理ニ関スル事項

五 衛生設備ニ関スル事項

(一) 住居ノ改善 (二) 医療設備 (三) 浴場設備

六 社会教育ニ関スル実行要目

(一) 精神教育

(二) 生活改善

婚礼 葬儀 年始中元歳暮等ノ贈答 出産並子女ノ祝

附 大磯漁業組合更生規約

大磯漁業組合更生計画書

第一目的

本漁業組合ニ於テハ数年来財界ノ不況ニ依ル魚価ノ暴落ト漁獲ノ減少トノ為ニ各漁家ノ収入激減シ別紙基本調査ノ示スカ如ク昭和七年度ニ於テハ負債総計四六三七四円（一戸平均一三六円）ニ達シ而カモ組合員全体ノ収支ハ差引三二七三七円ノ損失ヲ見タリ故ニ今ニシテ自主的精神ヲ振起シ更生ノ途ヲ開カザレバ将来大ナル悲境ニ陥ルベキヲ以テ今般県助成ノ趣旨ヲ体シ左記経済更生計画ヲ樹立シ全組合員ノ和衷協同ト各種団体ノ連絡協調ノ下ニ産業的並ニ社会的改善ヲ遂行シ本組合ノ経済更生ヲ完成セントス

第二目 標

二 生産目 標

| 業副 | 種 目 | 調 査 現 況 | | | | 将 来 目 標 | | | | 調 査 現 況 ト 将 来 目 標 ト ノ 比 較 | | | | | | |
|----|-----|---------|---------|------|--------|---------|----|---------|------|---------------------------|-------|----|---------|----|--------|-------|
| | | 品名 | 数量 | 販売数量 | 販売価額 | 品名 | 数量 | 販売数量 | 販売価額 | 増 | 減 | 増 | 減 | | | |
| 麻 | 継 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 戸 | 品名 | 数量 | 販売数量 | 販売価額 | 戸 | 品名 | 数量 | 販売数量 | 販売価額 | 戸 | 品名 | 数量 | 販売数量 | 販売価額 |
| | | 一五 | 三〇〇,〇〇〇 | 把 | 五〇,〇〇〇 | 五,〇〇〇 | 一五 | 三〇〇,〇〇〇 | 把 | 五〇,〇〇〇 | 五,〇〇〇 | 一五 | 三〇〇,〇〇〇 | 把 | 五〇,〇〇〇 | 五,〇〇〇 |

本目標ハ第三計画要項ノ実行ニ依リ向フ五ヶ年（昭和十二年）ノ終リニ於テ到達セントス
一 経済更生目標

| 種 目 | 金額 | 備 考 |
|------------|-----------|---|
| 生産ニ関スル事項 | 七,〇〇〇 (円) | 築磯並ニ養殖施設及漁業組織ノ改善ニ依ル収入三十万円水産副業収入一千円其ノ他副業（手内職）ニ依ル収入五千円増加漁船改造費千六百元ヲ差引ク |
| 販売ニ関スル事項 | 八〇〇 | 漁業必需品（石油餌料其ノ他）共同購入ニ依リ従来ノ消費高四万円ニ対スル約二分八百円ノ価額ヲ削減ス |
| 負債整理ニ関スル事項 | 一七五 | 一割以上ノ高利債八千円ヲ年八分ニ引下ヲナス |
| 生活改善ニ関スル事項 | 八四三 | 食糧費二千三百六十円 衛生費六百八十円 交際費一千七百円 冠婚葬祭費六百八十円 娯楽費其ノ他三千二百三十三円 ヲ八十円 住居費二百四十円ノ増加ヲ差引ク |
| 合 計 | 一六,六八 | |

第1章 国民更生 経済更生運動

| 水産 | | | | | | | | | | 計 | 塩乾魚 |
|--------|--------|-------|-----|-------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|-----|
| 無動力船 | 動力 | | | | | | | | | | |
| 鮪釣 | 計 | 其ノ他 | 巾着網 | 揚繰網 | 鮪釣 | 鮭釣 | いか釣 | 鯨鰯約 | 鯉釣 | 漁主要業船数 | |
| 105 | 50 | 50 | 1 | | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | 總漁獲高 | |
| 18,240 | 10,683 | 7,553 | | | 2,560 | 6,000 | 14,000 | 5,600 | 2,250 | 過去五年平均 | |
| 14 | 2,16 | 10 | | | 33 | 26 | 26 | 1,13 | 3元 | 漁獲高 | |
| 105 | 5 | 5 | | | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 船数 | |
| 17,740 | 11,513 | 5,733 | 800 | 2,000 | 9,600 | 7,000 | 16,500 | 6,000 | 13,400 | 總漁獲高 | |
| 19 | 2,17 | 10 | | | 18 | 31 | 31 | 1,13 | 2,50 | 過去五年平均 | |
| | | | | | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 漁獲高 | |
| | 10,000 | | 200 | 2,000 | | 700 | 1,100 | 3,300 | 1,400 | 總漁獲高 | |
| | | | | | | | | | | 過去五年平均 | |
| | | | | | | | | | | 船数 | |
| 500 | 0,140 | 1,000 | | | 1,300 | | | | | 總漁獲高 | |
| | | | | | | | | | | 過去五年平均 | |

三 收支目標

| 支 出 | 入 収 | | | | 種 目 | 金額 | | | | | | |
|-------|-------|--------|--------|--------|-------|---------|-----|-------|-------|------|------------|---------------------------------------|
| | 漁具購入費 | 漁船購入費 | 合 計 | 其ノ他 | | 入 収 産 生 | 小 計 | 其ノ他 | | | | |
| | | | | | | | | | 地区内総額 | 一戸当 | | |
| 二、九五四 | 九〇〇 | 二〇、三五四 | 一五、三六四 | 一七、〇〇〇 | — | 一七、〇〇〇円 | — | 地区内総額 | 調査現況 | 将来目標 | 計画実行ニ依ル増減額 | 摘 要 |
| 九 | 三 | 五五五 | 四四 | 五五〇 | — | 五五〇円 | — | 一戸当 | 一戸当 | 一戸当 | 一戸当 | |
| 二、九五四 | 二、九〇〇 | 二二、三五四 | 一〇、三六四 | 一九、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 一六、〇〇〇円 | — | 地区内総額 | 一戸当 | 一戸当 | 一戸当 | 築機施設 養殖 網漁業 (アクリリ巾着網) 計画 水産副業製品 |
| 九 | 七 | 六三三 | 六 | 五三三 | 三 | 五九〇円 | — | 一戸当 | 一戸当 | 一戸当 | 一戸当 | |
| — | 一、六〇〇 | 九、〇〇〇 | 五、〇〇〇 | 五、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 三、〇〇〇円 | — | 地区内総額 | — | — | — | 漁船ノ改造 |
| — | 四 | 二七 | 一五 | 二二 | 三 | 九〇円 | — | 一戸当 | — | — | — | |

| 合 計 | 計 | 雑 網 | 延 纏 |
|--------|-------|-------|-------|
| | | | |
| 一五五 | 一五五 | 一〇五 | 一〇五 |
| 一三、七七二 | 五、六五四 | 六、九七四 | 二、五七〇 |
| 一、〇五〇 | 五二四 | 壹 | 二四三 |
| 一五八 | 一〇五 | 一〇五 | 一〇五 |
| 一六、七三三 | 五、〇三四 | 八、一七四 | 二、四七〇 |
| 一、〇五三 | 四六 | 六 | 二五 |
| 一〇、〇五〇 | — | — | — |
| 五、〇五〇 | 三、三三〇 | 一、六〇〇 | 一、〇一〇 |

第1章 国民更生 経済更生運動

| 出 | | | | | | | | | | | | |
|----------|-------|-------|------------|----------|---------|-----|----|----|----------|----------|---------|-------|
| 費 活 生 | | | | | 費 營 經 産 | | | | | | | |
| 光熱費 | 住居費 | 被服費 | 食糧費 | 利子支払 | 小計 | 其ノ他 | 染料 | 氷代 | 餌料代 | 油代 | 配從当業員金員 | 修船漁具費 |
| 一、九五 | 一、七〇 | 一三、三六 | 八、七〇五 | 九七五 | 七、二六 | — | 三六 | 九七 | 三、七九 | 一七、二八 | 六、三三 | 六、八七 |
| 五 | 五 | 三 | 二四九 | 三 | 三〇 | — | — | 三 | 七 | 五 | 七 | 〇 |
| 一、五〇〇 | 二、〇〇〇 | 一三、三六 | 八、三三五 | 八〇〇 | 七、九六 | — | 三六 | 九七 | 三、五九 | 一六、五九 | 六、三三 | 六、八七 |
| 四 | 六 | 三 | 二四三 | 二 | 三三 | — | — | 三 | 六 | 四 | 七 | 〇 |
| △ 四一五 | 二四〇 | — | △ 二、三六〇 | △ 一七五 | 八〇〇 | — | — | — | △ 二八〇 | △ 五〇〇 | — | — |
| △ 一 | — | — | △ 七 | △ 一 | — | — | — | — | △ 一 | △ 二 | — | — |
| | 住居ノ改善 | | 野菜類自給自足 | | | | | | 自給自足 | | | |

第三 計画要項

一 土地ニ関スル事項

(一) 船揚場船溜場ノ拡張整備

本組合ニハ發動機付漁船五十三隻無動力漁船百五隻アルニ船揚

場ハ二ヶ所三二七〇坪ニ過ギズ朝夕出漁ニ際シテ混雑ヲ来シ漁業能率ヲ減スルコト尠カラス故ニ左記ニ依リ更ニ之カ整備ヲ行ハントス

震災直後岩盤隆起ノ為漁船ノ出入ニ際シ危険甚シク且其ノ引

| 収 支 差 引 | | | | | | | | |
|------------------|--------|--------|--------|-------------|-----------------------|-------------|-------------|-------------|
| | 合 計 | 負 担 | | | | | | 教 育 費 |
| | | | 小 計 | 其 ノ 他 | 冠 婚 葬 祭 費 | 交 際 費 | 衛 生 費 | |
| △三、二四七 | 二三四、六二 | 三、七二 | 一五、七四 | 一七、一六 | 五、二二 | 六、三九 | 九、三六 | 一、八七 |
| △九五 | 六〇 | 二 | 四四九 | 五 | 一五 | 一九 | 二七 | 六 |
| △一五、四五九 | 三三六、八三 | 三、七二 | 一四、一六 | 一四、三〇 | 四、五三 | 四、六九 | 八、六九 | 一、八七 |
| △四四 | 六六 | 二 | 四三四 | 四 | 一三 | 一四 | 三六 | 六 |
| 一六、七八 | △七七八 | — | △八、五六八 | △二、八八 | △六〇 | △一、七〇 | △六〇 | — |
| 五二 | △二四 | — | △二五 | △九 | △二 | △五 | △一 | — |
| | | | | 節酒節煙ヲ強調ス | 節約申合 | 節約主義強調 | 風呂ノ設備考慮 | |

二 生産ニ関スル事項

(一) 副業奨励

(イ) 漁家ノ余剩勞力(家庭婦女子並時化休漁)ヲ利用シ副業トシテ横浜市中区南太田町横浜真田集団工場(代表者田中兵助氏)ノ応援ヲ得テ工場建物五十坪ヲ建設シ動力設備ニ依リ最初五十台ノ機械ヲ据付ケテ麻継ヲ為サシメ年収五千円ノ収入ヲ計ラントス

| | | | | | |
|------------------------------|----------------|------------------|------------------|-------------------|-----|
| 南浜海岸 | 現在面積 七〇〇〇 坪 | 将来 拡張 面積 | | | 備 考 |
| | | 昭和九年 一〇、〇〇〇 坪 | 昭和十年 一五、〇〇〇 坪 | 昭和十一年 二〇、〇〇〇 坪 | |
| 擴張面積ハ現在面積ニ其年度ニ於テ擴張サルベキ面積ヲ加算ス | | | | | |

揚ニ著シキ障害アリタルヲ以テ海底ヲ浚渫シテ水深ヲ増加シ海岸ノ切均シテ行ヒ護岸工事ヲ施シテ海水ノ浸蝕ヲ防ギ以テ之ヲ船揚場トシ傍ラ漂砂防禦ニ備フル為防砂堤及砂壁ヲ設ケタルモ尚充分ナラサルヲ認メ昭和八年工費金貳万四千円ヲ投シテ更ニ浚渫並防波壁ヲ設定セリ
然レドモ尚擴張ノ要アルヲ以テ更ニ沖合東西ノ方向ニ約六十年ノ防波堤ヲ築造シテ船溜ノ完璧ヲ期シ出漁ニ便ヲ得セシメントス

(二)

水産業改善

(イ) 漁業共同経営ノ改善及組織ノ改善

個人経営ヨリ漸次共同経営ニ移シテ出資制度ニ依リ小規模漁業ヨリ漸次向上セシメ被傭者觀念ヲ離脱シテ責任感ヲ強カラシメ以テ漁業経営機能ノ充実ヲ図リ冗費ノ節約福利ノ増進ヲ計ラントス

(ロ) 漁業ノ統制

漁業ノ發展ニ関シ遠キ将来ヲ考慮シ各種漁業間ノ調和ヲ図リ漁船漁具等ニツキテモ其ノ統制ヲ図ラントス

(ハ) 漁業ノ新計画

(1) 本組合漁業者ハ従来鯉漁業其ノ他ノ餌料ハ何レモ須賀三崎静岡方面ヨリ購入シ居リ之ガ為ニ常ニ好漁ノ機会ヲ失シ拱手傍觀スルノ不利ナル状態ニアリ依テ組合員ニ低資ヲ供

(ロ) 家庭ノ副食品タル野菜類ハ従来土地狹隘ニシテ耕作地ニ乏シク悉ク購入シ居ル状態ニアリ其ノ購入年額ハ実ニ七千有餘円ニ達ス故ニ大磯町有地ノ三千坪並ニ官有地ニシテ耕作可能ノ土地約三千坪及渡辺千秋氏所有ノ埋立地五千坪ヲ借入レ栽培上ニ関シテハ中郡農會ノ実地指導ノ下ニ共同菜圃ヲ設ケ自給自足ノ途ヲ講_(一)ス

- 給シ出資制度ニ依リ巾着網漁業者組合ノ組織ヲナサシメ餌料自給自足ノ途ヲ講シ生産費ノ低減ヲ計リ利益ヲ増進セんとス
- (2) 揚繰網ヲ経営セシメ定置漁業師大謀網ノ漁期(五月三十日)終了後ニ於ケル漁業余剩勞力ヲ直ニ揚繰網漁業ニ転換セシメ漁業者ノ利益ヲ均等ナラシメントス
- (三) 水産物ノ価値増進対策
- 水産物ヲ良ク市場化スルコトハ最重要視セラル将来ハ生産ノ増加ト之カ処理トニ向ツテ特ニ左記事項ニ付意ヲ用フル必要アリ
- (1) 魚類ハ腐敗シ易キ特質ヲ有スルヲ以テ農林省ノ補助ヲ得テ製氷設備ヲ行フカ若ハ製氷会社ト特約シ氷ノ需給関係ヲ円滑ニシ鮮度ヲ高カラシムルコトニ意ヲ用フ
- (2) 水産製造加工処理所ヲ設置シ共同作業ニ依リ水産物加工製造ヲ奨励シ漁獲ノ予想困難ニシテ不時多量ニ漁獲セラルル鰯ニ対シテハ煮乾製造又ハ圧搾シテ魚肥ノ製造ヲ行ヒ鰯ハ鰯糞捲ノ製造ヲ為シ以テ価値ノ増加ヲ図ラントス
- (四) 沿岸漁業ノ拡充
- (1) 蕃殖保護ノ徹底
- (1) 種苗放養及害敵ノ駆除
- 童蝦ノ親蝦一千尾ヲ放養シ自昭和九年四月至昭和十年八月禁漁期間ヲ設定シ且害敵タル蛸駆除ノ為メ蛸壺ニ依リ一挙ニシテ増産ト蕃殖ノ実ヲ挙ゲルモノトス
- (2) 築磯ノ設置(魚族ノ誘致)
- 大型ノ廢船ヲ購入シ餌料ヲ積載シテ之ヲ沈下セシメ人工魚礁ヲ造リ鱒鯖黒鯛鱈等ノ魚族ヲ誘致シ漁獲高ヲ増加セントス
- (3) 瀬ノ海魚礁ノ愛護
- 相模湾内瀬ノ海魚礁ニ対シテハ極力関係漁業組合ト聯絡シテ魚族蕃殖及保護ノ実ヲ挙ゲ漁獲ノ増加ヲ計ル
- (四) 漁業権ノ整理及充実
- 利用少ナキ定置漁業改良三搜張漁業ニ統ヲ整理シ定置漁業鰯猪口網漁業権ヲ設定シ漁業組合ノ利益増進ヲ計ラントス
- (五) 發動機付漁船ニ依ル漁業経営ノ改善
- (1) 隻数噸数馬力数ノ統制
- 相模湾内瀬ノ海魚礁ハ魚族豊富ニシテ本組合ヨリ出漁スルモノ多ク最近強力ナル火光ヲ用ユル網漁業ニ依リ著シク漁獲減少シ逐年沿岸漁業ノ衰退ノ傾向アルニ鑑ミ将来遠洋漁業奨励

ヲ為トス共ニ一面極メテ近距離ニ有力ナル漁場ヲ持ツ本組合
ハ出漁船數噸數ニ考慮ヲ用ヒ更ニ馬力數ニ付テモ消費節約ノ
見地ヨリ最大限度ヲ定ムルノ要アリ充分基礎調査ノ上実施セ
ントス

(ロ) 機関ノ規格統一

機関ノ修繕ニハ最モ多額ノ經費ヲ要シ漁業者ノ等シク苦痛ト
スル所ニシテ機関ノ種類多ク部分品モ千差万別ナルヲ以テ調
査ノ上規格統一ヲ行ヒ然ル後之ニ必要ナル修繕工場若ハ指定
工場ヲ設置セントス

(ハ) 燃料費ノ軽減

燃料ノ使用ハ年額式万円ノ巨額ニ達スルヲ以テ本組合共同購
買事業取扱種目ノ一ニ加ヘ且機関ノ合理の使用法ヲ徹底セシ
メテ消費節約ヲ図ラムトス

三 販売購買金融ニ関スル事項

(一) 販売ニ関シテハ現行法ノ定ムル所ニ依リ既設市場トノ關係上
遺憾ナカラ計画シ得サル悩ミアリ故ニ販売ニ関シテハ左記事項
ニ意ヲ用ユ

(イ) 漁獲物ハ漁業者唯一ノ収入資源ナルヲ以テ自己ニ有利ニ且
確實ニ販売スルノ必要ヲ認ム単一魚市場ノ取扱ニノミ委スル

コトハ本組合ノ実情ニ即シテ最モ考慮スヘキ重点ナリ依テ中
郡農會其ノ他産業団体ノ応援ヲ求メ郡内経済更生町村ト協定
シ農産物トノ物々交換ハ相互ノ利益ヲ増進シ一面保健衛生上
ノ見地ヨリスルモ最モ機宜ニ適スル方法ニシテ併セテ魚価率
制ノ一手段ナリ

(ロ) 計画実施ニ依ル副業水産製産品及漁獲物ハ何レモ製品ノ統
一ニ力ヲ用ヒ共同出荷共同販売ニ依リ經費ノ節減ヲ計ル

(二) 購買ニ関シテハ現在取扱中ノ日常生活必需品ニ対シ購買品ノ
選択ニ注意ヲ払ヒ特ニ現金購入ニ依リ廉価ニ配給シ家計費ノ通
減ニ資セントス

漁業必需品タル氷石油餌料漁具等ハ組合購買部ニ於テ取扱ヒ生
産費低減ニ資スル外不況打開ノ途ナシ故ニ主トシテ共同購入ヲ
行ヒ単独購入ノ不利不便ヲ避ケ系統機関ヲ利用シ購買市場ヲ精
査シ優良品ノ低価購入ヲ図ル

(三) 金融ニ関スル事項

(イ) 銀行ノ借入ヲ成ルヘク避ケ極力組合ヨリ融通ノ途ヲ講
ズルコト

(ロ) 経済更生部落ニ指定セラレテ以来旧債償還ノ目的ヲ以テ既
ニ実行中ノ日掛貯金(更生貯金)ヲ履行シ更ニ出漁貯金(端

（貯蓄金）ヲ実施セントス

四 負債整理ニ関スル事項

(一) 本組合負債総額四万六千円（一戸当一三〇円）ハ各自経済更生計画ノ実行ニ依リ生ズル余剰金ヲ以テ返済ス

(二) 親戚知人及無尽其ノ他金融会社等ノ借入金ハ組合ノ低利資金ニ借換セシム

(三) 以上ハ組合役員会ノ決議ニ依リ借換者決定シ順位ハ自力更生ノ精神ニ富メル者ヨリ漸次決定ス

五 衛生設備ニ関スル事項

(一) 漁業組合員ノ住居ハ宅地ノ面積狹隘ノ為乍遺憾通風採光ニ欠クル所多シ殊ニ台所ノ改善ハ生活上最モ重要事項ニ付改築其ノ他ニ当リテハ此ノ主旨ニ基キ徳通セントス

(二) 医療設備

大磯町内ニ開業医アルモ従来漁業者ノ家庭ニ対シテハ事情ノ如何ヲ問ハス極メテ悲惨ナル情態ニアリ依テ組合嘱託医ヲ設置シ実費診療ヲ為サセシムルト共ニ県ノ助力ヲ仰ギ定期診療所ヲ開設セントス

(三) 浴場設備

漁業者ノ家庭ニ風呂ノ設備アルモノ極メテ少数ニシテ漁業者ノ

入浴料ハ家計上極メテ多額ニシテ不漁ニ際シテハ家族ハ全ク入浴セサルモノアリ衛生上遺憾ノ点多シ依ツテ組合共同浴場ノ設置ヲ為サントス

六 社会教育ニ関スル実行要目

(一) 精神教育

1 勅語並詔書ノ聖旨ヲ奉体スルコト
2 祝祭日及神社ノ祭典当日軍人送迎ノ際ニハ各戸ニ国旗ヲ掲揚スルコト

3 毎月一日十五日ニハ必ズ氏神ニ参拝スルコト

4 毎月一日十五日ニハ神棚及仏壇ヲ清掃スルコト

5 出漁及帰家ノ際ニハ必ズ神仏ヲ念スルコト

6 祖先ノ祭祀ハ質素ナル方法ニテ必ズ之ヲ行フコト

7 郷土ノ特質ヲ研究シ愛郷ノ念ヲ発揚スルコト

8 漁業ニ関スル研究ヲ為シ之ニ対スル信念ヲ持ツコト

9 父老ヲ尊敬シ長幼ノ序ヲ重ンスルコト

10 選挙ニ関スル知識ヲ啓キ且之ヲ公正ニ履行スルコト

11 各種団体ニ対シ協力互助ノ精神ヲ発揚スルコト

12 集会等ノ時間ヲ励行スルコト

13 利己心ヲ抑制シテ漁業組合ノ精神ヲ発揚スルコト

- 14 子女ノ教育ニハ一層ノ力ヲ用フルコト
- 15 町内会員中ノ葬儀ニハ可成会葬シテ死者ニ対スル礼ヲ行フコト

(二) 生活改善

- 1 予算生活ヲ実行スルコト
- 2 漁業組合ノ購買部ヲヨク利用スルコト
- 3 冗費ヲ省キ儉素ナル生活ヲナスコト

◎ 婚礼

- イ 持参品ハ虚飾ニ流レズ必ズ分度ヲ守ルコト
- ロ 式服ハ之ヲ質素ニシ式場ニ於ケル晴着ノ着換ヲ全廃スルコト

- ハ 饗宴ハ可成質素ニシ特ニ酒ノ無理強ヒヲナサザルコト
- ニ 衣服調度品ノ披露ヲ全廃スルコト
- ホ 三ツ目五ツ目等ノ振舞ヲ全廃スルコト
- ヘ 婿嫁ノ目見得歩キノ配茶ヲ廃止スルコト

◎ 葬儀

- イ 穴掘及忌中払ヒノ外ハ一切酒ヲ用ヒサルコト
- ロ 香奠返シハ可成簡單ニスルコト
- ハ 生花造花ノ贈受ハ可成少クシ放鳥ハ之ヲ全廃スルコト

◎ 年始中元歳暮等ノ贈答

- イ 年始ノ贈答ハ結紙ノミニ止ムルコト
- ロ 中元歳暮ノ進物ハ質素ニシテ実用品ヲ用フルコト
- ◎ 兵士ノ入退營

イ 長旗ハ必ズ一本ニ限ルコト

ロ 入退營ノ饗心ハ之ヲ全廃スルコト

ハ 退營者ノ土産ハ手拭一節ヲ以テ限度トスルコト

◎ 出産並子女ノ祝

イ 産兒舞孫抱ハ訪問ノミニ止メ贈答品ハ全廃スルコト

ロ 初孫祝ノ贈答品ハ近親者ノミニ止ムルコト

ハ 男女初節句ノ祝ハ成ルヘク質素ニスルコト

ニ 七五三ノ祝ハ家祝ノミニ止ムルコト

4 保健衛生ニ関シテハ大イニ意ヲ用フルコト

5 婦女子ハ余剩勞力ヲ活用シテ家計ノ補助ヲナスコト

◎ 大磯漁業組合更生会規約

第一条 本会ハ生活改善勸励力行ノ美風ヲ變メ自力更生ノ実行ヲ期

シ会員相互ノ福利ヲ増進スルヲ以テ目的トス

第二条 本会ハ大磯漁業組合更生会ト称ス

第三条 本会ノ事務所ハ之ヲ大磯漁業組合事務所内ニ置ク

第四条 本会員ハ自己ノ都合ニ依リ脱会スルコトヲ得ス

第五条 本会ニ左ノ役員ヲ置ク

会長一名 副会長 名 組長 名

第六条 役員ハ総テ名譽職トシ大磯漁業組合役員之ヲ兼ヌルモノト

ス

第七条 役員ノ職務ヲ左ノ如ク定ム

会長ハ本会ヲ代表シ会務ヲ総理ス

副会長ハ会長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ年長順ニ依リ會長

ノ職務ヲ代理ス

組長ハ組内ノ事務ヲ処理シ且ツ実行要目ニ関スル実行ヲ監査

シ違背者ニ対シテハ警告ヲ發シ又ハ之ヲ會長ニ申告ス

第八条 本会ニハ本会ノ發展ヲ図ル為メ顧問及囑託員ヲ置クコトヲ

得

第九条 總會ハ之ヲ通常總會臨時總會ノ二種トス

第十条 通常總會ハ大磯漁業組合通常總會ニ附随シテ之ヲ開キ左ノ

事項ヲ行フ

一 会務及成績ノ報告

一 講演談話申合等

一 其他必要ト認ムル事項

第十一条 臨時總會ハ必要ニ応シ會長ノ意見又ハ會員十分ノ一以上

ヨリ請求アタリル場合之ヲ開会ス

第十二条 役員会ハ必要ノ都度開会シ左ノ事項ニ付協議ス

一 會長ノ諮問ニ関スル事項

一 目的貫徹ニ関スル実行方法

一 經費ニ関スル事項

一 其ノ他重要ナル事項

第十三条 本会ハ本会ノ目的貫徹ヲ期スルタメ會員ノ主婦ニ対スル

啓發決意実行ノ指導方法ヲ講スルコト、ス

第十四条 本会ハ特ニ副業ニ関スル斡旋及指導ヲ施行スルコト、ス

第十五条 本会ニ要スル經費一切ハ大磯漁業組合ニ於テ之ヲ支弁ス

ルモノトス

第十六条 本会ノ會員ニシテ本会ノ規約ニ違背シタルモノアルトキ

ハ總會又ハ役員会ノ決議ニ依リテ之ヲ処置スルモノトス

附 則

一 本規約ノ改正ハ總會ニ計リテ會員半数以上ノ賛成アル

ニアラサレハ之ヲナスコトヲ得ス

一 本規約ハ會員ノ記名捺印ヲ了シ之ヲ事務所ニ保管ス

第1章 国民更生 経済更生運動

一本規約ハ昭和 年 月日ヨリ之ヲ施行ス

(神奈川県農政課「経済更生関係」(昭和八年) 神奈川県庁蔵)

[注]別紙基本調査書省略。

二六 中郡成瀬村経済更生計画 実行費調

(表紙)
一昭和七年度指定(農村)

経済更生計画及其ノ実行費

神奈川県中郡成瀬村

目次

第一 経済更生計画ノ要旨

第二 村ノ概況

第三 村民ノ収支及負債並更生ノ目標

第四 経済更生計画実行ニ要スル施設項目

第五 特別助成ノ対象トナル計画事項ヲ包含スル経済更生計画実行費調

神奈川県中郡成瀬村経済更生計画及其ノ実行費

第一 経済更生計画ノ要旨

数年来ノ不況ニ依リ生産物価格ノ暴落ヲ来シ為ニ各農家ノ収入激減シ村民ノ経済力ハ極メテ窮迫シ居レリ而シテ之ガ更生ヲ図ルノ方策

多々アルベシト雖モ本村民ガ真ニ農民精神ヲ体得シ自奮自励協力ニ依リ而モ老若男女ガ其ノ受持ヲ通ジテ本村ヲ提ゲ邁進スルノ精神ヲ根基トシ左ノ更生計画大綱ヲ実現スルノ一途アルノミナリ

(一) 産業組合ヲ拡充活用シ産業及経済ノ発達ヲ期スルコト

(二) 負債整理組合ヲ設立シ負債ヲ整理スルコト

(三) 共同収益地ヲ設定シ更生基金備荒共済基金ヲ積立ツルコト

(四) 食糧自給シ得ザル農家ニ耕地ヲ供給シ食糧ノ自給自足ヲ図ルコト

(五) 家畜ノ増殖特ニ本村ニ適スル牛豚綿羊ノ普及ヲ図ル為畜舎ノ改良空地ノ整理牧草植栽採草地設定受乳所設置集卵所設置牛豚購入資金融通ヲ図ルコト

(六) 共同出荷場ヲ各部落ニ一個所宛設置シ農産物販売統制ノ徹底ヲ図ルコト

(七) 改良農具ヲ完備シ共同利用ニヨリ能率増進ニ資シ労力ノ分配利用ニヨリ裏作栽培ノ増加ニ努メムトス

(八) 自給肥料ノ増産ト施肥ノ合理化ヲ図ラン為堆肥舎ノ全農家建設ヲ計画シ産業組合ニヨル肥料配合ノ徹底ヲ図ルモノトス

(九) 農民道場ニ青年男女ヲ入場セシメ中堅人物ノ養成ニ努メ精神振作ヲ為スコト

而シテ之ガ計画実行ニ当リテハ各部落ニ連帯責任ヲ負フ実行組合ヲ設置シ此ノ実行組合ハ各実行班ニ分チ恰モ往年ノ五人組制度ノ如クナシ之等実行組合ヲ産業組合農會ト密接ナル關係ヲ保タシメ学校其ノ他教化団体モ夫々連絡協調シ村経済更生委員会ニ於テハ之等総テヲ統制シ計画実行ノ円滑ヲ期スルモノトス

各部落ヨリ中堅青年ヲ選抜シ農民道場ニ入場セシメ婦村ノ上ハ之ヲ実行組合ニ配属セシメ幹部ノ指揮ノ下ニ又ハ独立シテ郷土更生ノ第一線ニ当ラシムルト共ニ村民各戸ニ我が家ノ更生計画ヲ部落ノ実行組合ニ「部落計画」ヲ夫々樹立セシメ村ノ経済更生計画ノ実行ヲ徹底セシメントスルモノナリ

第二 村ノ概況

一 位置及地勢其ノ他村情大観

村民ノ氣風ハ質朴温順ニシテ勤儉ナリ納税觀念良好ニシテ九九%ノ完納率ヲ示セリ農業以外ノ營業ハ醬油醸造業一戸材木業一戸雜貨店三戸ニシテ経済更生計画ヲ徹底セシムル上ニ於テモ別ニ影響ヲ及ボスコトナシ

産業組合ガ米穀類ノ販売統制ヲ強調シ肥料飼料ノ配給計画ヲ徹底セシムルモコレニヨリ生業ノ脅威ヲ受クル者ナシ

備考 商工業ハ計二九戸アルモ内工七雜業一〇菓子飲食等七戸ニ

二 戸口

シテ大ナル營業ハ僅々五戸ナリ

| 種別 | 戸数 | 割合 | 人口 | 備考 | 計 | |
|-------|------|-------|-----|----------------|-----|-----|
| | | | | | 其ノ他 | 計 |
| 農業 | 一〇三戸 | 二五・〇% | 六八戸 | 本欄ノ割合ハ農家総戸ニ對シテ | 四六 | 二八三 |
| 自作 | 一〇三戸 | 二五・〇% | 六八戸 | | 五 | 二〇八 |
| 自作兼小作 | 一五 | 三・六% | 九六 | | 元 | 二二 |
| 全小作 | 一五 | 三・三% | 九六 | | 五八 | 二二 |
| 全計 | 四三 | 八・二% | 二五三 | 本欄ノ割合ハ全戸數ニ對比 | 四六 | 二八三 |
| 林業 | 一 | 一 | 一 | | 三 | 二八三 |
| 漁業 | 一 | 一 | 一 | | 元 | 二八三 |
| 商工業 | 一 | 一 | 一 | 本欄ノ割合ハ全戸數ニ對比 | 五 | 二八三 |
| 其他 | 一 | 一 | 一 | | 五 | 二八三 |
| 計 | 四六 | 二・〇% | 二〇八 | | 四六 | 二八三 |

三 土地面積

イ 地目及所有別土地面積

第1章 国民更生 經濟更生運動

山林原野ノ利用ハ頗ル行届キ放牧地等ハ地積ノ關係上ソノ余裕ナシ
採草地ハ僅カニ道路ノ畦畔堤塘等ニコレヲ求ムルモ堆肥ノ原料トシ

ハ 山林原野放牧採草地等ノ利用狀況

| 地目 | 利用別 | | 經營別 | | 備考 |
|----|-------|-------|-------|-------|------------------------------|
| | 一毛作 | 多毛作 | 自作 | 小作 | |
| 畑 | 八〇〇 | 一、九三三 | 一、四四七 | 一、三三六 | 畑一毛作ハ桑畑ナリ |
| 田 | 三、三四反 | 三〇〇反 | 九〇反 | 一、六〇反 | 地積ヨリ經營面積少キハ他 町村民ノ入耕作アルニヨル |

ロ 利用經營別土地面積

備考 本町民所有地本村地積ヨリ多ハ他町村ニ本村民ノ所有地多キニヨル

| 地目 | 地積 | 所有地 | | | |
|------|--------|--------|--------|-------|-----|
| | | 本村民所有地 | 他村民所有地 | 公有地 | 国有地 |
| 山林原野 | 一、三四反 | 三、二九三反 | 一、九七坪 | 毛反 | 一反 |
| 宅地 | 二、六六六坪 | 二、〇四四坪 | 一、九七坪 | 二、七六坪 | 一反 |
| 畑 | 三、六六反 | 三、三五五反 | △反 | △反 | 一反 |
| 田 | 三、九〇反 | 三、二四反 | 〇反 | 〇反 | 一反 |

テ或ハ家畜ノ飼料トシテヨク利用セラル

ニ 魚場水面等水産資源ノ利用狀況

ナシ

四 主ナル生産物(最近五ヶ年平均)

農産物 二五四、八三七円 林産物 三、〇五〇円

水産物 ナシ 工産物 ナシ

鉱山物 ナシ 其ノ他 一、〇七〇円

五 村民ノ収支及負債(昭和八年)

村全体 農家全体 農家一戸当

収 入 三四六、四六〇円 二六〇、七二〇円 六六八円

支 出 三七〇、九八八円 二八二、二四八円 七〇六円

差引不足 二四、五二八円 二一、五二八円 不足 三八円

負 債 五〇〇、〇〇〇円 二五〇、〇〇〇円 六二五円

預貯金額 一三二、〇〇〇円 一一二、〇〇〇円 二八〇円

備考

負債ハ推定ナリ村全体ニハ村債九万円(内自作農創設資金三万円)

耕地整理組合十五万円計二十四万円ヲ合算シアリ農家全体ニハソ

ノ分ヲ除外シ且ツ農家ニ非サル、モノ、分一万円ヲ除キタリ

六 部落別經濟大観(昭和十年)

| 農 家 一 戸 | | | | | | | | | | 農家戸数 | 戸数 | 種目 部落名 |
|---------|---------------|------|------|-------|-----------|---------|---------|------|------|------|------|-----------|
| 家計費 | 負債ノ利子 及償還金 | 租税公課 | 諸経営費 | 総収入 | 山林 反別野 | 畑 反別 | 田 反別 | 働クモノ | 現在人口 | | | |
| 二七四 | 六四 | 二六四 | 三三四 | 七三四 | 一〇反 | 四二反 | 五九反 | 二二 | 六〇人 | 五戸 | 一〇三戸 | 下槽屋 |
| 二〇 | 三 | 六 | 二二 | 六五 | 六・四 | 六・五 | 二・九 | 二・六 | 六・一 | 五 | 七 | 東富岡 |
| 三六五 | 四五 | 九五 | 二六〇 | 九九〇 | 七〇 | 六・六 | 四・五 | 二・八 | 七・一 | 六 | 元 | 粟窪 |
| 二六七 | 六九 | 七五 | 二二七 | 七〇八 | 九・〇 | 七・〇 | 四・六 | 二・五 | 六・〇 | 四五 | 五 | 北高森 |
| 二六八 | 九〇 | 八〇 | 二四〇 | 七四 | 〇・七 | 七・〇 | 六・八 | 二・七 | 六・二 | 四九 | 五 | 前高森 |
| 二六五 | 六九 | 九五 | 三三六 | 六九八 | 一 | 五・五 | 七・〇 | 二・三 | 五・八 | 三 | 四 | 小金塚 |
| 二六九 | 七五 | 一五 | 三三 | 九〇 | 一 | 六・二 | 六・六 | 二・四 | 五・八 | 七 | 七 | 石田 |
| 五五 | 三四 | 二六 | 五七 | 一、五八〇 | 一 | 八・五 | 一四・五 | 三・四 | 六・九 | 一〇 | 二 | 見附島 |
| 二六 | 七 | 九 | 三五 | 六五 | 一 | 五・〇 | 八・〇 | 二・六 | 六・〇 | 三 | 元 | 下落合 |
| 二七 | 六 | 九五 | 三 | 七八 | 一 | 六・八 | 六・二 | 二・五 | 六・一 | 四〇 | 四八九 | 村全体 |

有担保
田畑担保 一五三、〇〇〇円
其ノ他 六、〇〇〇円
無担保 九一、〇〇〇円

成瀬村財政状況 (44)

1 成瀬村歳入出一覧表 (昭和十年)

| 歳入 | | 歳出 | |
|----|-----------|--------|-----------|
| 科 | 目 | 金 | 額 |
| 一 | 財産ヨリ生スル収入 | 二〇一・〇〇 | 一五三・〇〇 |
| 二 | 使用料及手数料 | 三九・〇〇 | 一三九・〇〇 |
| 三 | 交附金 | 四三・〇〇 | 五、四五五・〇〇 |
| 四 | 国庫下渡金 | 五三六・〇〇 | 六〇・〇〇 |
| 五 | 国庫補助金 | 三六・〇〇 | 一一、三〇三・〇〇 |
| 六 | 県補助金 | 七四三・〇〇 | 一、〇五六・〇〇 |
| 七 | 県奨励金 | 一〇六・〇〇 | 三六七・〇〇 |
| 八 | 寄附金 | 三三〇・〇〇 | 二、五二〇・〇〇 |
| 一 | 神社費 | | 一五三・〇〇 |
| 二 | 会議費 | | 一三九・〇〇 |
| 三 | 役場費 | | 五、四五五・〇〇 |
| 四 | 土木費 | | 六〇・〇〇 |
| 五 | 小学校費 | | 一一、三〇三・〇〇 |
| 六 | 実業補習学校費 | | 一、〇五六・〇〇 |
| 七 | 青年訓練所費 | | 三六七・〇〇 |
| 八 | 学事諸費 | | 二、五二〇・〇〇 |

ホ 貯金額

| 種別 | 金額 |
|--------|---------|
| 産業組合預金 | 一六、四五七円 |
| 郵便貯金 | 五五、〇〇〇 |
| 銀行預金 | 四〇、五四三 |
| 計 | 一一一、〇〇〇 |

第1章 国民更生 経済更生運動

| | | | | |
|--|--|--|-----------------|--------------|
| | | | 九 財産売却代金 | 一〇〇 |
| | | | 一〇 繰越金 | 一〇〇・〇〇 |
| | | | 一一 雑収入 | 五〇七・〇〇 |
| | | | 一二 村 税 | 一、七、三三〇・〇〇 |
| | | | 地租附加税 | 四、三三〇・〇〇 |
| | | | 特別地稅附加税 | 四七〇・〇〇 |
| | | | 營業収益稅附加税 | 四三〇・〇〇 |
| | | | 縣稅家屋稅附加税 | 四三〇・〇〇 |
| | | | 縣稅營業稅附加税 | 七三〇・〇〇 |
| | | | 縣稅雜種稅附加税 | 三、二三三・〇〇 |
| | | | 特別稅戶數割 | 九、九七〇・〇〇 |
| | | | 歲入合計 | 三、五、七、七五・〇〇 |
| | | | 九 伝染病予防費 | 五三・〇〇 |
| | | | 一〇 衛生諸費 | 一、八・〇〇 |
| | | | 一一 勸業諸費 | 六四・〇〇 |
| | | | 一二 史蹟名勝天然記念物保存費 | 五・〇〇 |
| | | | 一三 社会事業費 | 三〇・〇〇 |
| | | | 一四 救護費 | 二〇・〇〇 |
| | | | 一五 救助費 | 一〇・〇〇 |
| | | | 一六 警備費 | 三〇・〇〇 |
| | | | 一七 徵發責 | 一・〇〇 |
| | | | 一八 基本財産造成費 | 六三・〇〇 |
| | | | 一九 基本財産管理費 | 一〇・〇〇 |
| | | | 二〇 諸稅及負担 | 八、〇〇・〇〇 |
| | | | 二一 地方改良費 | 三、四、九・〇〇 |
| | | | 二二 統計費 | 七、七・〇〇 |
| | | | 二三 雜支出 | 四、五、六・〇〇 |
| | | | 二四 予備費 | 三、五〇・〇〇 |
| | | | 經常部計 | 三、一、四、八、六・〇〇 |
| | | | 臨時部 | |
| | | | 一 公債費 | 九、六、九・〇〇 |

2 歳入総額ニ対スル村税総額（昭和十年度）

| | | | |
|------------|-----------|---------------|----|
| 歳入総額 | 村税総額 | 全上ノ歳入総額ニ対スル割合 | 備考 |
| 二五,七五〇・〇〇円 | 一,七三三・〇〇円 | 交% | |

3 成瀬村有基本財産表

一 土地

| 種別 | 反別 | 金額 | 備考 |
|-------|---------|----------|----|
| 畑 | 〇・五三〇反歩 | 一三〇・〇〇円 | |
| 雑地 | 〇・七三九 | 五〇・〇〇 | |
| 役場敷地 | 〇・三三三 | 一〇六・〇〇 | |
| 小学校敷地 | 九・五〇三 | 四,三三〇・〇〇 | |
| 計 | | 四,五六一・〇〇 | |

二 建物

| | | |
|----------|----------|------------|
| 二補助費 | 臨時部計 | 歳出合計 |
| 一,二〇〇・〇〇 | 二,三四九・〇〇 | 三,五,七五〇・〇〇 |

三 債券

| 種別 | 金額 |
|-------|------------|
| 村基本財産 | 四,〇〇〇,一〇〇円 |
| 全 | 神奈川県農工銀行 |

| 用途種別 | 構造 | 棟数 | 坪 | 現在価格 | 摘要 |
|------|------------|----|-------|--------|-----|
| 役場 | 木造二階建スレート葺 | 一棟 | 三三坪 | 五,〇〇〇円 | |
| 同上 | 木造平家亜鉛葺 | 一 | 九 | 三〇〇 | 使丁室 |
| 同上 | 木造平家亜鉛葺 | 一 | 三 | 二〇 | 物置 |
| 小学校 | 木造二階建亜鉛葺 | 一 | 一五・五 | 一五,〇〇〇 | |
| 同上 | 木造平家亜鉛葺 | 四 | 四二九 | 三三,五三〇 | |
| 駐在所 | 木造平家亜鉛葺 | 一 | 二四 | 五〇〇 | |
| 計 | | 九 | 六〇一・五 | 五四,三四〇 | |

第1章 国民更生 経済更生運動

5 租税納税成績調(昭和十年度)

| 費 途 | 借入年月日 | 償還年月日 | 償還財源 | 利 子 | 未償還額 |
|---------------|-------------|----------|---------------|------|----------|
| 小学校応急費 | 大正十三年三月六日 | 昭和三十一年二月 | 村税其ノ他 一般収入 | 四分二厘 | 10,000 円 |
| 小学校応急費以外震災応急費 | 大正十三年三月三十一日 | 昭和二十三年二月 | 全 | 四分二厘 | 11,500 |
| 小学校応急費以外震災復旧費 | 大正十三年三月二十七日 | 昭和三十四年三月 | 全 | 五分 | 10,000 |
| 小学校震災復旧施設費 | 大正十四年三月五日 | 昭和三十四年三月 | 全 | 五分 | 10,000 |
| 小学校以外ノ震災復旧施設費 | 大正十四年三月十日 | 昭和三十四年三月 | 全 | 五分 | 10,000 |
| 農業振興土木事業費 | 昭和八年一月十一日 | 昭和十六年二月 | 全 | 三分三厘 | 500 |
| 暴風雨被害小学校復旧施設費 | 昭和八年三月三十一日 | 昭和二十七年九月 | 全 | 三分三厘 | 500 |
| 計 | | | | | 66,800 |

4 村債

| | | |
|-------------|---|----------|
| 小学校基本財産 | 全 | 1,500.00 |
| 米麦授賞記念基本財産 | 全 | 100.00 |
| 昭和御大典記念基本財産 | 全 | 100.00 |
| 計 | | 1,700.00 |

四 現金

| | |
|-------------|-----------|
| 村基本財産 | 40,500 円 |
| 小学校基本財産 | 1,300.00 |
| 米麦授賞記念基本財産 | 550.00 |
| 昭和御大典記念基本財産 | 79.50 |
| 計 | 42,150.00 |

| 村 | 県 | | | | | | | | | | 国 | | | | | | | | | |
|---|---------|---------|-------|--------|--------|--------|----------|---------|----------|---------|------------|-------|---------|-------|-------|---------|----------|---------|---------|---------|
| | | | | | | | | | | | 他ノ其 | | 租 | | | 地 | 税 | | | |
| | 特別地稅附加稅 | 地租附加稅 | 雜種稅 | 營業稅 | 家屋稅 | 所得稅附加稅 | 營業收益稅附加稅 | 都市計畫特別稅 | 營業收益稅附加稅 | 特別地稅 | 都市計畫特別稅地租割 | 地租附加稅 | 乙種資本利子稅 | 營業收益稅 | 所得稅 | | | 雜地稅 | 宅地稅 | 畑地稅 |
| | 四〇九・六四 | 二、二六・五五 | 八四・七六 | 八八七・五七 | 二五七・五四 | 一・一六・六 | 三・三三 | 六二・三五 | 六二・三五 | 五、九九・五五 | 一四・三六 | 四六・二〇 | 一、〇三・三三 | 八三・九六 | 五三・三〇 | 一、〇三・三六 | 三〇、〇六・六三 | 三、〇六・六三 | 三、〇六・六三 | 三、〇六・六三 |
| | 六〇一 | 四〇七 | 四〇 | 四八八 | 二〇 | 五 | 五 | 六四 | 六四 | 六〇四 | 九 | 四 | 二〇 | 一八八 | 四三四 | 三四 | 二九三 | 二九三 | 二九三 | |
| | 一・七三 | 四・六 | 二・二 | 一・九三 | 一・八七 | 〇・三 | 六・壹 | 二・四八 | 〇・二 | 九・七 | 一・五 | 二・五 | 五・五 | 〇・四四 | 一・八 | 三・七 | 一〇・四八 | 一〇・四八 | 一〇・四八 | |
| | 三・五 | 六・五 | 三・九 | 七・七 | — | — | — | 九・九 | 〇・三五 | 六・五 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | |

| 税 | | | | |
|---------|----------|--------|--------|---------|
| 特別稅戶數割 | 營業收益稅附加稅 | 營業稅附加稅 | 家屋稅附加稅 | 雜種稅附加稅 |
| 九、九七・〇五 | 三、五・五三 | 五 | 四九、五〇 | 二、〇七・六七 |
| 四七三 | 五 | 四六八 | 四九六 | 四〇 |
| 三、二二三 | 七、三〇 | — | 〇、九六 | 一、八九 |
| 六六・三 | — | 二四、〇〇 | 〇、九四 | — |

二 産業組合

名称 保証責任成瀬村信用販賣購買利用組合

区域 成瀬村一円

設立年月日 大正十年四月三十日

組合員數其ノ他ハ別冊昭和十年年度報告書添付

ホ 産業組合更生計畫

別紙本組合経営方針及拡充計畫達成目標添付

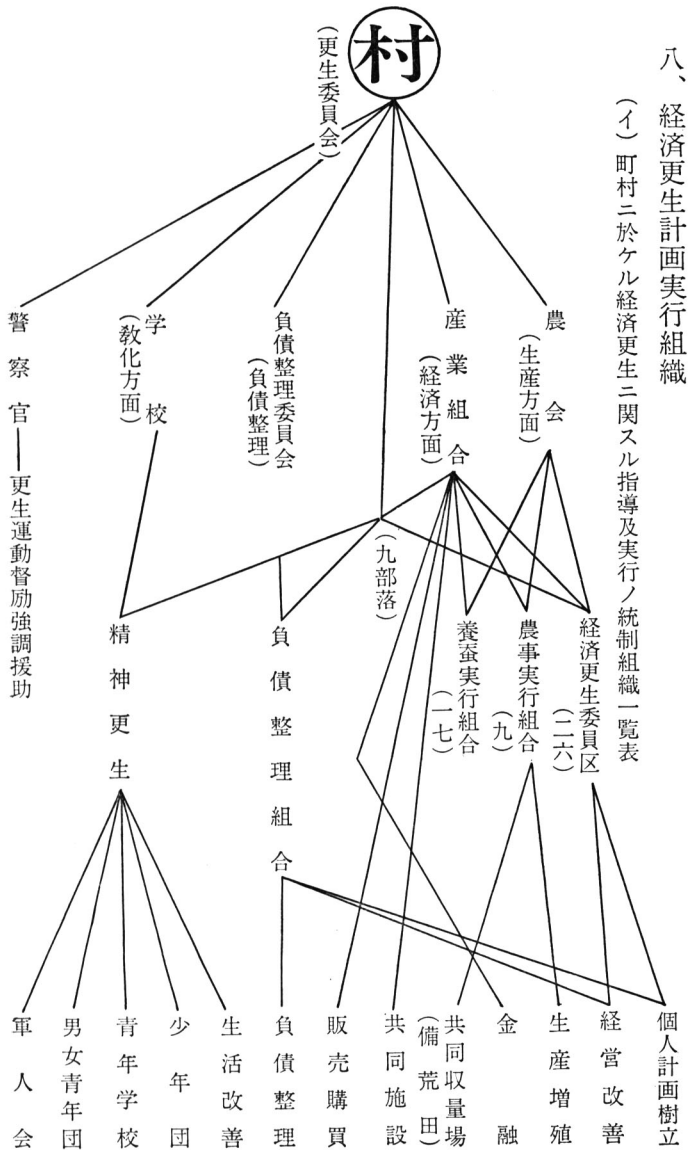
ハ 成瀬村農会

名称 成瀬村農会

区域 成瀬村一円

會員數 六百名

農会歳入出予算(昭和十一年)別冊ノ通り



一 第三 村民ノ収支及負債並更生ノ目標
一 収支目標

| 入 | | 収 | | | | | | | | | | 種 目 | 金額 | | | | |
|-----------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|---------|------|-------|--------|--------|--------|-------|-------------|-------|-------|
| | | 入 | | | | | 家 農 | | | | | | | | | | |
| 農家以外ノ村民収入 | 農家収入計 | 小計 | 其ノ他収入 | 貸預金利息 | 出稼収入 | 労働収入 | 小計 | 其ノ他農業収入 | 農産加工 | 林産 | 畜産 | 養蚕 | 耕種 | 昭和八年 | 更生目標(昭和十五年) | 増減 | 一戸当 |
| 三、五〇〇 | 二五、八三三 | 三、五〇〇 | 一、四〇〇 | 一一、二〇〇 | 八、四〇〇 | 四、一〇〇 | 二九、六五三 | 四九、五〇〇 | 五〇〇 | 三、〇〇〇 | 一三、〇〇〇 | 五、七〇〇 | 九六、七七〇 | 昭和八年 | 更生目標(昭和十五年) | 増減 | 一戸当 |
| | 二五、八三三 | 三、五〇〇 | 一、四〇〇 | 一一、二〇〇 | 八、四〇〇 | 四、一〇〇 | 二九、六五三 | 四九、五〇〇 | 五〇〇 | 三、〇〇〇 | 一三、〇〇〇 | 五、七〇〇 | 九六、七七〇 | 一戸当 | 一戸当 | 一戸当 | 一戸当 |
| | 二五、八三三 | 三、五〇〇 | 一、四〇〇 | 一一、二〇〇 | 八、四〇〇 | 四、一〇〇 | 二九、六五三 | 四九、五〇〇 | 五〇〇 | 三、〇〇〇 | 一三、〇〇〇 | 五、七〇〇 | 九六、七七〇 | 二、四〇〇 | 二、八〇〇 | 三、七〇〇 | 九、五〇〇 |
| | 二五、八三三 | 三、五〇〇 | 一、四〇〇 | 一一、二〇〇 | 八、四〇〇 | 四、一〇〇 | 二九、六五三 | 四九、五〇〇 | 五〇〇 | 三、〇〇〇 | 一三、〇〇〇 | 五、七〇〇 | 九六、七七〇 | 二、四〇〇 | 二、八〇〇 | 三、七〇〇 | 九、五〇〇 |
| | 二五、八三三 | 三、五〇〇 | 一、四〇〇 | 一一、二〇〇 | 八、四〇〇 | 四、一〇〇 | 二九、六五三 | 四九、五〇〇 | 五〇〇 | 三、〇〇〇 | 一三、〇〇〇 | 五、七〇〇 | 九六、七七〇 | 二、四〇〇 | 二、八〇〇 | 三、七〇〇 | 九、五〇〇 |
| | 二五、八三三 | 三、五〇〇 | 一、四〇〇 | 一一、二〇〇 | 八、四〇〇 | 四、一〇〇 | 二九、六五三 | 四九、五〇〇 | 五〇〇 | 三、〇〇〇 | 一三、〇〇〇 | 五、七〇〇 | 九六、七七〇 | 二、四〇〇 | 二、八〇〇 | 三、七〇〇 | 九、五〇〇 |
| | 二五、八三三 | 三、五〇〇 | 一、四〇〇 | 一一、二〇〇 | 八、四〇〇 | 四、一〇〇 | 二九、六五三 | 四九、五〇〇 | 五〇〇 | 三、〇〇〇 | 一三、〇〇〇 | 五、七〇〇 | 九六、七七〇 | 二、四〇〇 | 二、八〇〇 | 三、七〇〇 | 九、五〇〇 |
| | 二五、八三三 | 三、五〇〇 | 一、四〇〇 | 一一、二〇〇 | 八、四〇〇 | 四、一〇〇 | 二九、六五三 | 四九、五〇〇 | 五〇〇 | 三、〇〇〇 | 一三、〇〇〇 | 五、七〇〇 | 九六、七七〇 | 二、四〇〇 | 二、八〇〇 | 三、七〇〇 | 九、五〇〇 |
| | 二五、八三三 | 三、五〇〇 | 一、四〇〇 | 一一、二〇〇 | 八、四〇〇 | 四、一〇〇 | 二九、六五三 | 四九、五〇〇 | 五〇〇 | 三、〇〇〇 | 一三、〇〇〇 | 五、七〇〇 | 九六、七七〇 | 二、四〇〇 | 二、八〇〇 | 三、七〇〇 | 九、五〇〇 |
| | 二五、八三三 | 三、五〇〇 | 一、四〇〇 | 一一、二〇〇 | 八、四〇〇 | 四、一〇〇 | 二九、六五三 | 四九、五〇〇 | 五〇〇 | 三、〇〇〇 | 一三、〇〇〇 | 五、七〇〇 | 九六、七七〇 | 二、四〇〇 | 二、八〇〇 | 三、七〇〇 | 九、五〇〇 |

第1章 国民更生 経済更生運動

| 出 | | 支 | | 収 入 合 計 | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|----------|-----------|----------|------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|-----------|----------|----------|----------|----------|-----------|----------|----------|
| 出 | | 支 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 費 | | 費 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 通信交通費 | 衛生費 | 冠婚葬祭費 | 交際費 | 光熱費 | 嗜好物費 | 被服費 | 居住費 | 食糧費 | 計 | 其ノ他 | 雇傭勞賃 | 小作料 | 薬剤費 | 農産具費 | 種畜種苗費 | 飼料代 | 肥料代 | |
| 000.00 | 000.00 | 11000.00 | 10000.00 | 9,200.00 | 7,600.00 | 11,000.00 | 9,600.00 | 30,000.00 | 9,600.00 | 1,000.00 | 4,000.00 | 3,000.00 | 0.00 | 5,000.00 | 5,000.00 | 8,000.00 | 3,000.00 | 3,000.00 |
| 00.50 | 17.50 | 300.00 | 250.00 | 2,475.00 | 1,950.00 | 1,000.00 | 2,400.00 | 7,500.00 | 2,475.00 | 250.00 | 10,000.00 | 6,500.00 | 1,000.00 | 1,375.00 | 1,400.00 | 11,000.00 | 3,000.00 | 9,600.00 |
| 000.00 | 6,000.00 | 8,000.00 | 7,000.00 | 7,500.00 | 6,000.00 | 0.00 | 9,000.00 | 30,000.00 | 9,300.00 | 1,000.00 | 4,000.00 | 3,000.00 | 0.00 | 5,000.00 | 5,000.00 | 11,000.00 | 3,000.00 | 3,000.00 |
| 50.00 | 15.00 | 10,000.00 | 17.50 | 18,750.00 | 15,000.00 | 0.00 | 24,000.00 | 75,750.00 | 23,750.00 | 250.00 | 10,000.00 | 7,500.00 | 2,000.00 | 1,375.00 | 1,400.00 | 27,500.00 | 8,750.00 | 8,750.00 |
| — | 1,000.00 | 4,000.00 | 3,000.00 | 2,400.00 | 1,600.00 | 3,000.00 | 2,400.00 | — | 2,200.00 | — | — | — | — | — | — | 2,500.00 | 3,500.00 | 3,500.00 |
| — | 2.50 | 10.00 | 7.50 | 6.00 | 4.00 | 7.50 | — | — | 13.00 | — | — | 10.00 | — | — | — | 6.50 | 8.75 | 8.75 |

